

授業に関するアンケート（2017年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね4ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
学芸学部国際教養学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。	概ね合っていた。ただし、本年度から始まった新カリキュラムに伴う新しい授業で、受講者数が想定以上に多くなった授業に関しては、やむをえず授業方法を修正しなければいけないケースが生じた。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。	出席カードの自由記述欄にコメントや質問を記入させたり、アナライザーを使用して授業の理解度を把握するよう努め、受講者とのコミュニケーションをとる工夫をする授業が多かった。講義科目に関しては、より一層の確認作業が必要な授業もある。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。	平均して約7.5割以上が授業レベルに合っていると答えている。教員も意識して学生のレベルにあった授業を心がけている。さらに努力を促したい。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。	講義科目に関しては、教員は極力双方向の授業を意識しているが、より一層の努力が求められるケースがあった。想定以上に受講者数が増えた選択講義科目については特に教師中心の講義形式になりがちで、さらなる努力が必要である。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。	各教員によってフィードバックの方法や頻度は異なるが、それぞれ、意識的に努力している。ただし、演習科目は評価的には良いが講義科目のフィードバックに関して改善の余地がある科目がある。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。	ビジュアルエイドを意識的に用いて解説を行うなど、工夫をしている授業に関しては評価も良い。また小テストなども理解度の深化に役立っている授業もある。受講生により評価が異なる授業もあった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。	演習科目と講義科目により工夫の方策が異なることが推察されるが、それぞれの授業において自主学習を促す工夫がなされている。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの正答を配布してほしい。 ・ノートを取りきれない。 ・教科書がもったいない。など。 春秋開講の授業に関しては正答を配布することをしない場合もある。また教科書については、反転授業の意図を理解していない学生もいるようであるが、要検討。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。	※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
30分から1時間の予習リーディングは少し少ないように思うので要検討である授業もある。	

10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
ペア活動やグループ活動を常に取り入れている授業が多く、学生が意見を述べやすい環境づくりが整っている授業が多い。質的に高い意見交換ができる工夫をさらに進めていく。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
全体としては学生は分野または関連分野の学習を進めたいと思っているようである。1、2年次生に関しては本学科では必修科目が多いため、学生の意志に履修が関係ない場合も多く、この質問への回答が一概に的を射ているとは限らない。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
上記11でも述べたが、特に1、2年次生は必修科目が多く、その旨回答している学生も多い。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていきましたか。
授業の冒頭、また各授業中に到達目標を意識するような指導を心がけている教員も複数おり、そのような授業では学生も意識的に授業目標を持っていることがうかがえる。担当者によっては、演習科目よりも講義科目の評点が低いと分析している場合もある。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
科目により差がある。ポジティブな評価が多い。
15. DWCLA10の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
受講者により解釈が様々である。

(4) その他

アンケートの評価観点が変わったことで、今までの授業評価の結果が変わった。 必修の授業では、質問事項そのものがそぐわない質問もある。 など。
